トップ直撃

山王スペース&レンタル　山本啓之社長（50）

法人向けレンタルだけでなく、個人向けの「家電パッケージレンタル」でも注目を集める山王スペース&レンタル（旧アコムレンタル）。「レンタルの価値を創造し、借りることの魅力を発信したい」と語る山本啓之社長。この4月、グループ会社で、建築内装や不動産事業などを運営するジェイ・エル・エイ（JLA）と経営統合を果たし、新社名でスタートを切った。山本社長が見据えるビジネスモデルは―。

（古川仁一）

個人向け「家電パッケージ」で注目

――主力事業は

「各種展示会をはじめ、スポーツ大会や学園祭、企業研修などに欠かせない機材やアイテムのレンタルが全体の過半数を占め、残りが事務関連用品などのオフィス向け機器のレンタルです。約8000種類、43万5000点の製品をそろえてます」

――4月1日に社名を変えました

「そもそも『アコムレンタル』と『JLA』は、アコムの子会社で、そのアコムから10年ほど前にマルイトの関連会社になりました。マルイトはアコムの生みの親であり、現オーナーには『いつか（2社を）一緒にしたい』という思いがありました」

――経営統合による新たな事業構想は

「JLAはアコムの『無人クン』を全国展開するなど、全国一律に同じものを提供するノウハウを持っています。現在も外食産業などの全国展開のお手伝いをしていますが、そこにレンタルを組み込んでいきたい。すでにマンションであれば、家具や家電を組み込むモデルケースがあります。外食産業でも厨房品や電子メニューシステムなどをレンタルし、その先にさまざまな事業版が出来上がれば、当社の存在意義につながるかなと」

――草創期は個人向けレンタルでスタートしました

「1970年代、一般消費者を対象にビデオカメラやスーツケースなどを貸し出していました。（親会社の）マルイトの扱っていた反物は、その場で売れるものではなく、お客さまが自宅に持ち帰っていた。要は信頼で成り立っていました。その発想からか、創始者は『貸す事業をやろう』と。貸す部屋としては『ホテルモントレ』がありました」

――2011年3月の東日本大震災後の5月、東北営業所を開設しました

「（震災前は）7月に開く予定でした。社員とレンタカーで（震災から）3週間後に現地入りし、パノラマ状態で（惨状を）見ていると、自然と涙がこぼれました。『ボランティアをしながら（当社が）浸透していければ』と思ったものですが、地元は違って、『すぐに立ち上がりたい』という声を聞き、予定を繰り上げました」

「イベント（対応）だけでなく、福島の汚泥処理のための機材などを買い上げてレンタルするなど、必要なレンタル品を検討しました」

――社員の声が反映されているそうですね

「『今度のイベント、見に来てください』と、直接言ってきます。私が社長室よりも、営業部のデスクにいる方が多いので…。外部の方に『風通しがいいね』と言われます（笑）」

やまもと・ひろゆき　1965年5月27日生まれ。愛知県出身。90年3月、筑波大学大学院修士課程修了。90年4月、名古屋鉄道入社。2001年2月、JLAに転職し、その後、あまの創健を経て、10年2月、JLAの親会社マルイト取締役。11年3月、アコムレンタル社長、12年4月、JLA社長。16年4月から現職。備品・レンタル協会理事を兼務。

【会社メモ】総合レンタル、建装、不動産業。本社・東京都中央区。消費者金融アコムの子会社、アコムレンタルとして1999年10月設立。2005年の愛・地球博以降はイベントの企画、制作、運営にも注力。16年4月にグループ会社のJLAと経営統合し、現社名。資本金1億円。売上高67億7200万円（JLAとアコムレンタルの実績合計。15年3月期）。従業員1060人（社員、契約社員ほか含む。16年4月1日現在）。

借りる魅力発信

社内はアットホーム

ネット介してダイレクトに

――ネットを介しての事業も進めています

「今までは法人経由で個人ユース（レンタル）をしていました。例えば、転勤の多い会社の総務や人事部経由で。それをネットを利用してダイレクトで市場に働きかけてます。当社の『家電パッケージレンタル』（家電のレンタルサービス）は新品で、色やサイズ、型番まで指定できるようにしています」

――将来の開拓分野は

「リユース（再利用）に関しては、常に『新しくて、きれいなもの』という点にこだわりたい。海外展開では東南アジアに向けて、レンタルという概念を浸透させ、需要を捉えたいですね」

「人に優しく、自分に厳しく」ありたい

【家族構成】妻、長男（23）と長女（21）の4人家族。

【座右の銘】春風をもって人に接し、秋霜をもって自らをつつしむ（儒学者・佐藤一斎）。「社会人時代にこの言葉に触れ、やはり『人に優しく、自分に厳しく』、そうあるべきだなと思いまして」

【恩師】筑波大学名誉教授の松田光生氏。「先生は大学からほど近いご自宅に食事の時間に戻りながら、朝8時半から夜の11時ぐらいまで研究室にいらっしゃった。その日々の中で、仕事のやり方を教わりました。『物事は仮説をたてて検証していき、正しい、間違っている、どう修正していくか、調べるんだぞ』と。それが今も生きてます」

【尊敬する人物】名城大学の加藤幸久教授。「私は大学院を修了するとき、大学の先生になりたいと思っていましたが、地元に戻り、就職しました。7年ほど前に加藤先生と出会い、その話をすると、『お前、（今からでも）やってみればいいじゃないか！』と。昨年までの5年間、非常勤講師として『健康学概論』を教えてました。もう（大学に）戻ることはないだろうとは思いますが、この5年間の講義経験によって、教授へのチャレンジの道は残りまして。加藤先生からは〝諦めないこと〟を教わりましたね」

休日はブラックバス釣り

【ゴルフ】ハンディ21。大学時代、ゴルフサークルに入会。現在は多忙のため、月に1回ほどのラウンドも、シングルプレーヤーが目標だ。

「仕事もいっしょですが、最後まで気を抜かないということを教えてくれるスポーツだなと思います」

【釣り】長男と月に1回ほどの頻度で琵琶湖に行き、ブラックバス釣りを楽しむ。「長男が小さい頃から一緒に釣りをしてましたが、たまたまブラックバス釣りを教わる機会があり、それから彼はとりこになりまして」。今春から大学院に通う子息は「魚の視力の研究」をしている。ちなみにブラックバスの視力は人間に換算すると、0.13ぐらいだそうだ。

【好きな映画】「ミッション：インポッシブル」（米国、1996年公開）シリーズ。俳優トム・クルーズの初プロデュース作品で、現在も製作継続中の娯楽大作。「アクション系の映画が好きですね」

【ジョギング】40年来の趣味。「大学受験の時に始め、今も毎週末に30分ほど走っています」

【健康】よく寝ること。「平日でも7時間の睡眠時間を確保します。これがないとやっていけない（笑）」

【旅行】「九州の名湯に行きたいですね。3年ほど前に妻と大分の由布院に行き、とてもよかったので。九州は料理もおいしいですからね」